

官民研究開発投資拡大プログラムについて

PRISM (Public/Private R&D Investment Strategic Expansion Program)

令和4年4月

内閣府
科学技術・イノベーション推進事務局

1. 戦略的イノベーション創造プログラム^{エスアイピー}(SIP)

総合科学技術・イノベーション会議が府省・分野の枠を超えて自ら予算配分して、基礎研究から出口(実用化・事業化)までを見据えた取組を推進。

2. 官民研究開発投資拡大プログラム^{プリズム}(PRISM)

平成30年度に創設。高い民間研究開発投資誘発効果が見込まれる領域に各府省庁の研究開発施策を誘導し、官民の研究開発投資の拡大、財政支出の効率化等を目指す。

3. ムーンショット型研究開発制度

日本発の破壊的イノベーションの創出を目指し、解決困難な社会課題等を対象として国が野心的な目標及び構想を掲げ、世界中から研究者の英知を結集し、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進。

官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）概要

- 官民研究開発投資拡大プログラム（PRISM）は、総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）の司令塔機能を強化するために、平成30年度に創設（100億円）。

【目的】

民間研究開発投資誘発効果の高い領域又は財政支出の効率化に資する領域への各府省庁施策の誘導を図ることを目的とする。

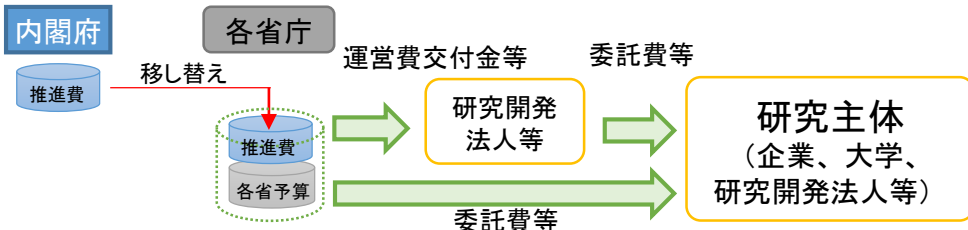
【事業概要】

- ガバニングボードは、領域を設定し、予算の配分等に強い権限をもった領域統括の下、統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策を、トップダウンで決定。対象施策に係る研究開発の加速、新規研究開発課題の前倒し等に必要となる経費を、内閣府より追加配分。＜研究開発型：平成30年度より実施＞

【令和4年度領域：AI技術、建設・インフラ維持管理／防災・減災技術、バイオ技術、量子技術】

- 中長期的に官民研究開発投資の拡大を図るため、令和元年度から、国立大学における民間資金獲得を推進する事業、令和2年度から、スタートアップ・エコシステム拠点形成による創業環境整備を推進してスタートアップを支援する事業、令和3年度から、科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律に基づく新SBIR制度における省庁連携を加速させる事業、社会課題解決や国際市場獲得等を促進する標準活用施策の加速化支援をする事業を実施し、令和4年度は、地域と連携した外部資金拡大に意欲のある地域中核大学を支援する事業を実施予定。＜システム改革型＞

資金の流れ



期待される効果

- イノベーション創出につながる官民研究開発投資の拡大。
- 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による、大学等に対する企業の投資額の増大。新SBIR制度の加速と、スタートアップ・エコシステム拠点の形成による、スタートアップへの投資額の増大。標準活用の加速化による社会課題解決や国際市場獲得。

PRISM（研究開発型）に係る実施体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバナングボード

プログラム統括

PRISM審査会

領域統括（領域ごと）
運営委員会（領域ごと）

議長：内閣総理大臣

議員：内閣官房長官、科学技術政策担当大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣
有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）

上山隆大（常勤）、
梶原ゆみ子、佐藤康博、篠原弘道、菅裕明、波多野睦子、藤井輝夫、梶田隆章（非常勤）

内閣府政策参与（1名） 須藤亮

CSTI 有識者議員＋外部有識者＋プログラム統括（5名）

篠原弘道（座長）、上山隆大、久間和生（外部）、橋本和仁（外部）、須藤亮（プログラム統括）

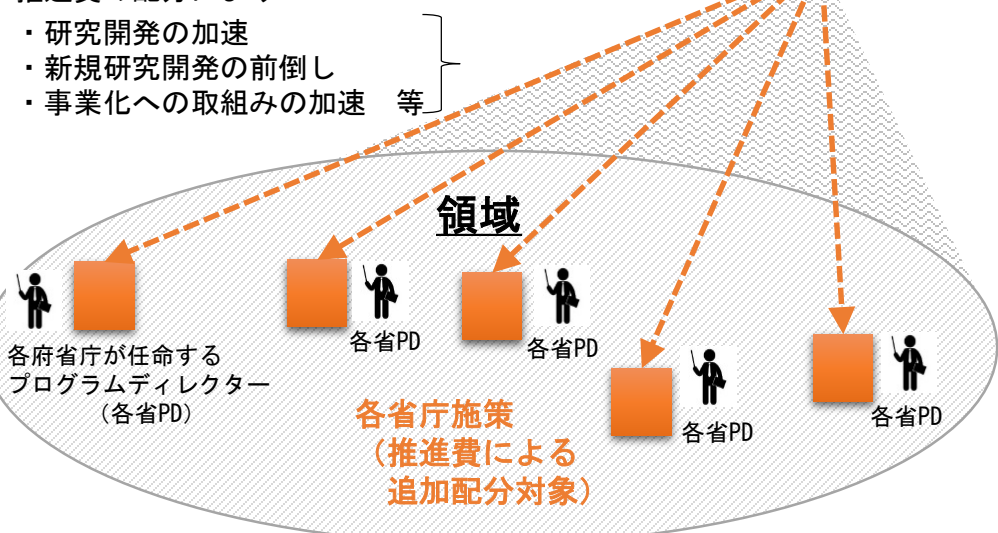
領域統括（4名）：領域ごとに1名 / 運営委員：領域ごとに2～8名

- 《対象施策》への予算の追加配分
- 《対象施策》間の連携促進

運営委員会
座長：領域統括

推進費の配分により

- ・ 研究開発の加速
- ・ 新規研究開発の前倒し
- ・ 事業化への取組みの加速 等



AI技術領域	革新的建設・インフラ技術/革新的防災・減災技術領域	バイオ技術領域	量子技術領域
<p>【領域統括】 安西祐一郎</p>  <p>日本学術振興会顧問 人工知能技術戦略会議議長</p> <p>【主要分野】 ✓ AI/IoT/ビッグデータ</p>	<p>【領域統括】 田代民治</p>  <p>鹿島建設株式会社顧問</p> <p>【主要分野】 ✓ 建設：i-Construction ✓ インフラ維持管理：点検、診断、補修、長寿命化 ✓ 防災・減災：予防、予測、被害軽減、早期機能復旧</p>	<p>【領域統括】 小林憲明</p>  <p>元 キリンホールディングス株式会社取締役常務執行役員</p> <p>【主要分野】 ✓ バイオ素材 ✓ ヘルスケア・機能性食品 ✓ 持続的・一次生産システム ✓ 資源循環利用</p>	<p>【領域統括】 荒川泰彦</p>  <p>国立大学法人東京大学 ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構特任教授</p> <p>【主要分野】 ✓ 量子融合イノベーション：量子AI技術、量子生命技術、量子セキュリティ技術</p>

PRISM（システム改革型）に係る実施体制

総合科学技術・イノベーション会議

ガバニングボード

プログラム統括

審査・評価委員会

議長：内閣総理大臣

議員：内閣官房長官、科学技術政策担当大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済産業大臣
有識者議員（8名）

CSTI 有識者議員（8名）

上山隆大（常勤）、
梶原ゆみ子、佐藤康博、篠原弘道、菅裕明、波多野睦子、藤井輝夫、梶田隆章（非常勤）

内閣府政策参与（1名） 須藤亮

CSTI 有識者議員＋外部有識者（12名）

審査・評価に係る業務は各分科会に付託

【地域中核大学イノベーション創出環境強化事業分科会】

- 上山隆大 CSTI有識者議員（座長）
- 東 博暢 (株)日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリシナル
- 沖村正博 (公財)長野県産業振興機構常務理事
- 岸本康夫 JFEスチール(株)スチール研究所研究技監
- 佐藤康博 (株)みずほファイナンシャルグループ取締役

【スタートアップ・エコシステム形成推進事業分科会】

- 上山隆大 CSTI有識者議員（座長）
- 菅 裕明 国立大学法人東京大学大学院理学系研究科教授、ミラパイオロジクス(株)取締役
- Victor Mulas World Bank, Senior program officer

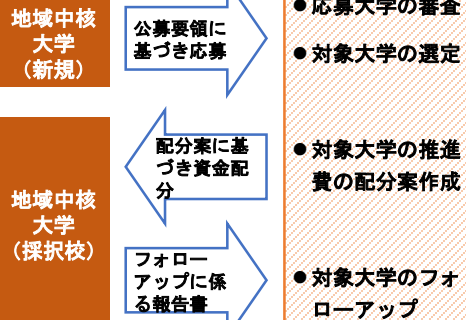
【新SBIR制度加速事業分科会】

- 上山隆大 CSTI有識者議員（座長）
- 東出浩教 早稲田大学ビジネススクール（商学研究科）教授
- 琴坂将広 慶應義塾大学総合政策学部准教授
- 永田暁彦 リアルテックファンド代表(株)ユーグレナ取締役副社長

【標準活用加速化支援事業分科会】

- 上山隆大 CSTI有識者議員（座長）
- 立本博文 国立大学法人筑波大学大学院ビジネス研究科教授
- 渡部俊也 東京大学未来ビジョン研究センター教授

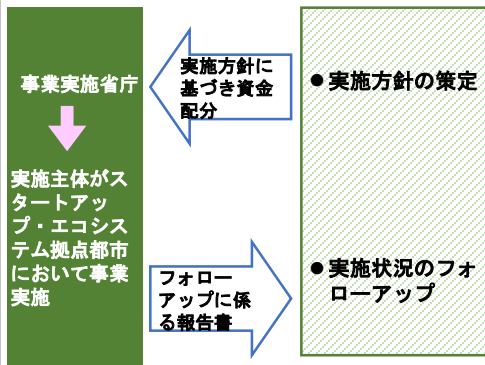
【地域中核大学イノベーション創出環境強化事業】



※【国立大学イノベーション創出環境強化事業】は令和4年度まで

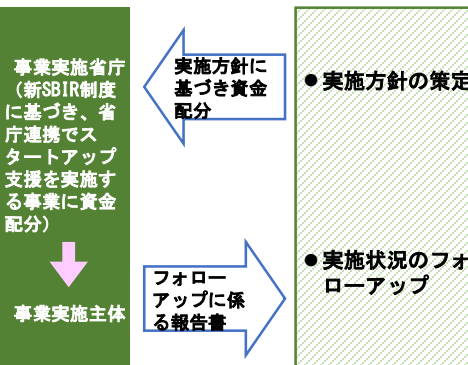
外部資金獲得実績等に応じたインセンティブとなる資金を配分

【スタートアップ・エコシステム形成推進事業】



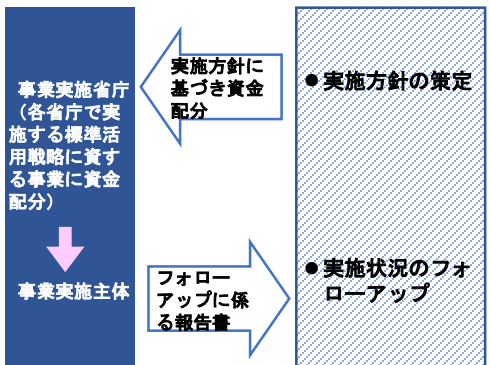
スタートアップ・エコシステム形成推進に必要な資金を配分

【新SBIR制度加速事業】



新SBIR制度に基づき、省庁連携を加速すべき事業に資金を配分

【標準活用加速化支援事業】



標準活用戦略を踏まえ、加速化支援すべき事業に資金を配分